

3. 事業報告書

事業報告書

令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

(1) 農作物共済関係

(引受)

年産	共済目的	支所名	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
令和 2年産	水 稲		人	a	円	円	円	円
		東 部	3,652	210,141	1,205,384,636	3,817,417		
		中 部	2,384	164,278	936,332,597	3,036,399		
		西 部	2,874	276,530	968,518,155	3,997,524		
		合 計	延8,910 実8,470	650,949	3,110,235,388	10,851,340	10,823,824	21,675,164

引受の状況

県内水稲作付面積 11,300ha（対前年比 99.1%、中国四国農政局）のうち、引受面積は 6,509ha（引受率 57.6%・前年比 420ha 減少）となった。引受戸数は 8,470 戸（実）となり前年比 888 戸の減少、共済金額は 31 億 1,000 万円となり前年比 2 億 700 万円減少した。

(被害)

共済目的	支所名	被害組合員数	共 済 金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
水 稲		人	円	%
	東 部	167	9,207,292	0.8
	中 部	96	7,149,535	0.8
	西 部	315	26,710,618	2.8
	合 計	578	43,067,445	1.4

被害の状況

(1) 移植不能

東部・中部支所管内の一部で、約 0.7ha の移植不能が発生した。南国市では保管していた苗にイモチ病が発生し、代替苗の確保もできなかったため移植不能となった。また、土佐町では、3 月から 5 月の降水量の減少により使用していた谷水が減少し移植不能となった。

(2) 早期稲

台風の直接的な被害は少なかったが、局地的な大雨等の影響により一部の地域において倒伏、発芽の被害が発生した。スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）については冬場の気温が高かったことから、海岸部を中心に大量発生し、約 19 ha の被害が発生した。イノシシ等の獣害による被害面積は約 22 ha となり昨年に比べ若干減少した。病害については、天候不順、長雨等の影響によりイモチ病が発生し県内全域で被害が発生した。

(3) 普通期稲

天候不順、長雨等による影響によりイモチ病、紋枯病、ゴマ葉枯病の被害が県中西部で多発した。8月21日には県病虫害防除所から昨年に続き「トビイロウンカ」の注意報が発令され、県中西部を中心にウンカによる坪枯れや萎縮病の被害が発生した。

(4) 跡作稲

東部支所管内で風水害による不稔のほか、ジャンボタニシ及びスズメによる食害が発生したが全体として僅少だった。

(支払)

共済目的	支所名	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
水 稲	東 部	12月21日	円 9,207,292	円	円	円	円	円	% 100
	中 部	12月21日	7,149,535						100
	西 部	12月21日	26,710,618						100
	合 計		43,067,445	0	21,675,164	21,392,281	0	0	100

(2) 家畜共済関係
(引受)

区分	項目	支所名	有資格	事業計画	引受	引受頭数	共済金額	徴収共済	納入	交付金	手持共済
			頭数	頭数	頭数	事業計画頭数		掛金			
			頭	頭	頭	%	円	円	円	円	円
死亡 廃用 共済	搾乳牛	東部	791	630	591	93.8	127,170,640	4,091,368	0	84,953,320	178,796,872
		中部	1,151	1,270	1,361	107.2	372,340,550	13,661,050			
		西部	760	660	657	99.5	148,508,950	5,042,643			
		計	2,702	2,560	2,609	101.9	648,020,140	22,795,061			
	繁殖用 雌牛	東部	341	255	314	123.1	55,787,800	319,842			
		中部	793	820	788	96.1	141,666,200	701,052			
		西部	818	730	748	102.5	159,550,800	1,938,918			
		計	1,952	1,805	1,850	102.5	357,004,800	2,959,812			
	育成乳牛 (子牛等)	東部		320	260						
		中部	454	25	15	79.7	62,588,030	380,458			
		西部	656	610	655						
		計	410	35	56	110.2	149,978,300	1,033,868			
	育成・ 肥育牛 (子牛等)	東部		1,010	1,098						
		中部	1,433	120	133	108.9	223,521,000	1,989,092			
		西部	2,847	2,130	2,131						
		計	3,794	410	416	100.3	600,802,300	4,305,396			
	育成・ 肥育馬	西部	0	0	0	0.0	0	0			
		計	0	0	0	0.0	0	0			
	種豚	東部	605	0	0	0.0	0	0			
		中部	41	0	0	0.0	0	0			
西部		3,591	3,460	3,309	95.6	269,164,000	34,774				
肉豚	東部	2,015	0	0	0.0	0	0				
	中部	43	0	0	0.0	0	0				
	西部	20,541	23,500	22,526	95.9	252,291,200	24,930,877				
	計	22,599	23,500	22,526	95.9	252,291,200	24,930,877				
種雄牛	中部	1	1	0	0.0	0	0				
	計	1	1	0	0.0	0	0				
計			41,085	39,326	38,277	97.4	3,474,612,120	66,606,739			
疾病 傷害 共済	乳用牛	東部	935	690	668	100.1	13,736,164	4,710,975			
		中部	1,379	1,330	1,320	102.7	21,457,925	7,116,152			
		西部	887	730	720	100.5	16,900,000	5,565,637			
		計	3,201	2,750	2,708	101.5	52,094,089	17,392,764			
	肉用牛	東部	898	700	733	118.0	3,876,129	814,097			
		中部	1,964	1,970	1,708	103.8	18,223,813	3,601,701			
		西部	2,873	2,680	2,539	104.5	18,678,671	4,044,510			
		計	5,735	5,350	4,980	106.0	40,778,613	8,460,308			
	一般馬	西部	0	0	0	0.0	0	0			
		計	0	0	0	0.0	0	0			
	種豚	東部	0	0	0	0.0	0	0			
		中部	0	0	0	0.0	0	0			
		西部	0	0	0	0.0	0	0			
	種雄牛	東部	1	1	0	0.0	0	0			
		計	1	1	0	0.0	0	0			
	計			8,937	8,101	7,688	104.5	92,872,702	25,853,072		
過年度共済掛金								1,383,741			
合計			50,022	48,477	45,965	98.6	3,567,484,822	93,843,552	0	84,953,320	178,796,872

※有資格頭数、事業計画頭数、引受頭数の上段は成牛、下段は子牛等

引受の状況

(死亡廃用共済)

酪農経営農家は、後継者不足等や立退きにより5戸が廃業し、引受戸数38戸(対前年比88.3%)となった。引受頭数もその影響により、搾乳牛の区分で60頭、育成乳牛の区分で44頭減少した。

肉用牛生産農家は、未加入者と新規就農者の加入によって4戸増加したが、高齢による廃業等が3戸あったため酪農経営農家の肉用子牛の加入も含め、引受戸数が146戸(対前年比99.3%)となった。引受頭数は、繁殖・肥育一貫経営農家が繁殖用雌牛を導入したことや、子牛を自家保留したことにより繁殖用雌牛が38頭増加した。

豚については、肉豚で22,526頭と前年に比べて1,010頭減少した。

(疾病傷害共済)

死亡廃用共済と同様の理由により乳用牛の加入戸数は39戸(疾病傷害共済のみ加入1戸)となった。引受頭数は、2,791頭(対前年比96.9%)と90頭減少し、共済金額は250万円減少。肉用牛の引受戸数は150戸と例年同様。引受頭数は5,671頭(対前年比104.9%)で、前年に比べ263頭増加し、共済金額は316万円増加した。

(事故)

区分	項目	支所名	死亡 廃用 共済			
			死亡 頭数	廃用 頭数	総頭数	支払共済金 円
搾乳牛		東 部	45	19	64	10,044,439
		中 部	69	19	88	20,692,967
		西 部	52	2	54	8,144,671
		計	166	40	206	38,882,077
繁殖用雌牛		東 部	5	1	6	798,500
		中 部	10	0	10	2,396,650
		西 部	18	3	21	3,306,606
		計	33	4	37	6,501,756
育成乳牛 (子牛等)		東 部	5	0	5	1,353,500
		中 部	4	0	4	4,100,787
		西 部	1	0	1	641,600
		計	10	0	10	6,095,887
育成・肥育牛 (子牛等)		東 部	8	1	9	4,485,473
		中 部	15	3	18	15,024,650
		西 部	34	12	46	15,357,347
		計	57	16	73	34,867,470
繁殖用雌馬		西 部	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
育成・肥育馬		西 部	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
種豚		東 部	0	0	0	0
		中 部	0	0	0	0
		西 部	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
肉豚		東 部	0	0	0	0
		中 部	0	0	0	0
		西 部	4,243	0	4,243	42,883,356
		計	4,243	0	4,243	42,883,356
種雄牛		東 部	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
種雄馬		西 部	0	0	0	0
		計	0	0	0	0
計			4,790	60	4,850	129,230,546

区分	項目	支所名	疾病 傷害 共済	
			件数	支払共済金 円
乳用牛		東 部	676	11,011,006
		中 部	1,089	15,113,698
		西 部	714	14,210,188
		計	2,479	40,334,892
肉用牛		東 部	300	2,700,231
		中 部	1,081	9,808,008
		西 部	812	11,854,102
		計	2,193	24,362,341
一般馬		西 部	0	0
		計	0	0
種豚		東 部	0	0
		中 部	0	0
		西 部	0	0
		計	0	0
種雄牛		東 部	0	0
		計	0	0
種雄馬		西 部	0	0
		計	0	0
計			4,672	64,697,233

※死亡欄の上段は成牛及び子牛、下段は胎児

事故の状況

(死産事故)

搾乳牛及び育成乳牛：事故頭数は昨年度より 36 頭減少（対前年比 88.4%）し、支払共済金は評価額が高額な若い牛の死亡が多かったため 497 万円の増加となった。

繁殖用雌牛及び育成・肥育牛：事故頭数は昨年度より 71 頭増加（対前年比 127.2%）し、支払共済金は 1,146 万円と大幅に増加した。出荷前の肥育牛と子牛の事故増加が主たる原因である。

肉豚：事故頭数は昨年度より 200 頭減少（対前年比 95.5%）、当該家畜区分は付保割合が固定化されておらず、その調整によって支払共済金は概ね例年並みとなった。

(病傷事故)

乳用牛の区分において、事故件数は 2,479 件（対前年比 88.5%）と 323 件減少し、支払共済金は約 783 万円減少した。また、肉用牛の区分においても、事故件数は 2,193 件（対前年比 96.4%）と 82 件減少し、支払共済金も約 224 万円減少した。

令和 2 年 1 月 1 日から共済掛金期間が始まる疾病傷害共済は、診療費の 1 割を組合員が負担することになった。それによる共済金の減少は約 480 万円（乳用牛約 290 万円、肉用牛約 190 万円）となり、制度改正により事故低減を目的として導入された 1 割自己負担は、事故の多い乳用牛の区分において結果が得られた。

(損害防止)

実施種目	支所名	対象頭数	経費概算	摘要
特定損害防止	東部	頭	円	実施なし
	中部			
	西部			
一般損害 一 予防衛生措置	東部	793	238,344	薬剤費助成
	中部	1,056	1,557,270	薬剤費助成
	西部	2,455	1,193,774	薬剤費助成
	合計	4,304	2,989,388	

(診療所)

診療所名	職員数	管内		診療件数		損害防止事業			摘要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一般	特損	経費概算	
中央	6 人	8,467 頭	7,818 頭	2,686 頭	420 頭	1,849 頭	0 頭	1,795,614 円	予防衛生措置
高幡	4	5,782	5,676	1,253	1,089	2,455	0	1,193,774	
計	10	14,249	13,494	3,939	1,509	4,304	0	2,989,388	

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年度	果樹区分	支所名	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
			人	a	円	(A) 円	(B) 円	(A) ± (B) 円
平成30年度	うんしゅうみかん・半相殺方式 (元年産)	東 部	1	117.5	3,982,000	13,937	10,354	24,291
	うんしゅうみかん・全相殺方式 (元年産)		45	816.0	178,368,000	654,010	488,180	1,142,190
	指定かんきつ・半相殺方式 (2年産)		11	500.3	10,412,000	119,844	63,614	183,458
	指定かんきつ・災害収入共済方式 (2年産)	東 部	27	1,213.7	57,493,000	644,637	/	/
		西 部	3	219.1	4,047,000	51,900		
	計		30	1,432.8	61,540,000	696,537	419,596	1,116,133
計		87	2,866.6	254,302,000	1,484,328	981,744	2,466,072	
令和元年度	うんしゅうみかん・半相殺方式 (2年産)	東 部	0	0.0	0	0	0	0
	うんしゅうみかん・全相殺方式 (2年産)		37	692.0	162,129,000	844,285	827,348	1,671,633
	指定かんきつ・半相殺方式 (3年産)		9	358.5	11,926,000	133,951	88,382	222,333
	指定かんきつ・災害収入共済方式 (3年産)	東 部	25	1,106.1	51,333,000	591,783	/	/
		西 部	3	219.1	4,415,000	49,968		
	計		28	1,325.2	55,748,000	641,751	325,463	967,214
計		74	2,375.7	229,803,000	1,619,987	1,241,193	2,861,180	
令和2年度	うんしゅうみかん・全相殺方式 (3年産)	東 部	29	447.8	119,800,000	617,628	605,316	1,222,944
	指定かんきつ・半相殺方式 (4年産)		9	308.3	11,044,000	136,271	89,914	226,185
	指定かんきつ・災害収入共済方式 (4年産)	東 部	21	978.6	47,040,000	526,000	/	/
		西 部	3	219.1	4,740,000	50,363		
	計		24	1,197.7	51,780,000	576,363	292,301	868,664
	計		62	1,953.8	182,624,000	1,330,262	987,531	2,317,793

引受の状況

うんしゅうみかん・全相殺減収総合方式は、収入保険への移行と廃業等に伴い戸数29戸（対前年8戸減）、引受面積447.8a（対前年244.2a減）となった。

指定かんきつ（ぼんかん）・半相殺減収総合一般方式は、高齢化等により9戸（対前年変更無）、引受面積308.3a（対前年50.2a減）となった。なお、収入保険への移行はなかった。

指定かんきつ（ゆず）・災害収入共済方式は、高齢化及び廃業により24戸（対前年4戸減）、引受面積1,197.7a（対前年127.5a減）となった。なお、収入保険への移行はなかった。

(被害)

果樹区分	支所名	被害組合員数	共済金	共済金	
				共済金額	
うんしゅうみかん・ 全相殺方式（2年産）	東 部	1 人	907,920 円		0.5 %
計		1	907,920		0.5
指定かんきつ・ 災害収入共済方式 （元年産）	東 部	4	3,057,304		5.4
計		4	3,057,304		5.4

○令和2年産 うんしゅうみかん・全相殺減収総合方式

令和元年6月下旬から10月下旬にかけての多雨等天候不順および9月から気温が高めに推移したことにより樹勢バランスが崩れ、着花量が減少して優良花も少なく減収した。

○令和3年産 指定かんきつ（ぼんかん）・半相殺減収総合一般方式

被害なし（被害申告なし）

○平成元年産 指定かんきつ（ゆず）・災害収入共済方式

平成30年6月28日から7月8日にかけての豪雨によって河川が氾濫し、園地への土砂の流入や園地の一部が樹体とともに流出する被害が発生した。平成29年12月から平成30年2月までの急激な寒暖差が発芽期に影響を及ぼし、5月の開花期に着花不良が発生した。さらに、5月の急激な寒暖差により奇形花が多く発生し減収となった。

(支払)

果樹区分	支所名	支払年月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払共済金 共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
うんしゅうみかん・ 全相殺方式 （2年産）	東 部	令和2年12月18日	907,920 円	0 円	907,920 円	0 円	0 円	0 円	100 %
計		-	907,920	0	907,920	0	0	0	100
指定かんきつ・ 災害収入共済方式 （元年産）	東 部	令和2年12月18日	3,057,304 円	1,416,837 円	1,078,240 円	562,227 円		0 円	100 %
計		-	3,057,304	1,416,837	1,078,240	562,227	0	0	100

(4) 畑作物共済関係

(引受)

年度	項目		支所名	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
	畑作物区分								
31	茶	中 部	人	a	円	円	円		
		西 部	8	435.6	2,867,000	48,923			
		計	21	420.0	3,584,000	65,598			
		計	29	855.6	6,451,000	114,521	▲21,864	92,657	
2	茶	中 部	人	a	円	円	円		
		西 部	8	402.6	2,688,000	45,803			
		計	27	551.0	4,250,000	82,866			
		計	35	953.6	6,938,000	128,669	▲24,558	104,111	

引受の状況

地方公共団体が実施する補助事業の交付について、茶共済への加入の検討が要件化されたことにより西部支所において7戸の増となった。その後収入保険に1戸が移行した。

(被害)

畑作物区分	項目	支所名	被害組合員数	共 済 金	共済金
					共済金額
茶	中 部	人	円	%	
	西 部	4	209,382	7.8	
	計	14	1,371,769	32.3	
		計	18	1,581,151	22.8

被害の状況

4月上旬の凍霜害から立ち直り、間もなく収穫を迎えようとしていた新芽が4月下旬の大規模な凍霜害により枯死し、大幅な減収となった。また、3月下旬から4月にかけて低温の日が続き、生育が遅れ減収となった。

(支払)

畑作物区分	項目	支所名	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払共済金
					保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
茶	中 部	令和2年9月29日	209,382	円	円	円	円	円	%	
	西 部	令和2年9月29日	1,371,769						100	
	計		1,581,151	1,184,152	92,657	304,342	0	0	100	

(5) 園芸施設共済関係

(引受)

施設区分	項目	支所名	組員数	引受棟数	設置面積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
			人	棟	a	千円	千円	円	円	円
10	ガラス木造	東部	0	0	0.0	0	0	0	0	0
		中部	0	0	0.0	0	0	0	0	0
		西部	0	0	0.0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0.0	0	0	0	0	0
20	ガラス鉄骨	東部	6	8	59.6	78,652	66,289	46,912	19,275	66,187
		中部	16	42	287.0	372,269	321,365	170,650	82,776	253,426
		西部	1	1	10.0	15,278	12,222	7,270	5,928	13,198
		計	23	51	356.6	466,199	399,876	224,832	107,979	332,811
30	木造	東部	147	289	1,814.3	776,384	655,176	2,312,603	1,440,276	3,752,879
		中部	340	696	8,276.6	3,559,001	3,038,439	8,417,882	5,387,520	13,805,402
		西部	7	7	97.1	35,743	28,593	140,213	100,217	240,430
		計	494	992	10,188.0	4,371,128	3,722,208	10,870,698	6,928,013	17,798,711
40	パイプ	東部	127	603	1,349.8	308,574	254,421	2,858,611	1,156,870	4,015,481
		中部	45	97	173.8	42,853	36,931	386,645	121,940	508,585
		西部	45	109	210.6	48,917	40,707	551,589	200,335	751,924
		計	217	809	1,734.2	400,344	332,059	3,796,845	1,479,145	5,275,990
50	A P	東部	1,851	4,777	55,273.2	39,668,429	33,790,138	91,142,091	49,096,413	140,238,504
		中部	1,072	2,978	30,409.3	19,812,092	16,989,398	42,950,262	24,101,359	67,051,621
		西部	610	1,250	13,344.1	8,865,875	7,584,863	22,114,548	11,510,335	33,624,883
		計	3,533	9,005	99,026.6	68,346,396	58,364,399	156,206,901	84,708,107	240,915,008
61	鉄骨(軟質)	東部	659	1,452	17,242.6	19,558,985	16,774,605	26,982,804	15,339,895	42,322,699
		中部	353	765	9,055.7	7,806,445	6,786,459	9,351,233	5,181,957	14,533,190
		西部	215	330	4,286.5	4,097,899	3,459,845	6,075,280	3,566,927	9,642,207
		計	1,227	2,547	30,584.8	31,463,329	27,020,909	42,409,317	24,088,779	66,498,096
62	鉄骨(硬質)	東部	93	209	2,980.1	4,968,524	4,205,995	5,260,149	853,075	6,113,224
		中部	219	439	6,807.5	8,546,237	7,351,063	11,442,360	1,656,132	13,098,492
		西部	28	37	476.8	571,235	501,736	825,293	220,930	1,046,223
		計	340	685	10,264.4	14,085,996	12,058,794	17,527,802	2,730,137	20,257,939
70	鉄骨MMA	東部	45	81	1,007.5	1,892,339	1,605,545	1,938,783	893,739	2,832,522
		中部	50	90	722.5	685,657	578,445	638,657	397,048	1,035,705
		西部	36	51	772.4	1,078,915	955,597	1,145,018	614,249	1,759,267
		計	131	222	2,502.4	3,656,911	3,139,587	3,722,458	1,905,036	5,627,494
80	雨よけ	東部	1	2	10.7	4,450	3,559	31,338	16,557	47,895
		中部	6	14	27.0	10,599	8,499	78,107	39,831	117,938
		西部	8	72	136.4	32,884	28,528	255,653	88,547	344,200
		計	15	88	174.1	47,933	40,586	365,098	144,935	510,033
合計	東部	2,929	7,421	79,737.8	67,256,337	57,355,728	130,573,291	68,816,100	199,389,391	
	中部	2,101	5,121	55,759.4	40,835,153	35,110,599	73,435,796	36,968,563	110,404,359	
	西部	950	1,857	19,333.9	14,746,746	12,612,091	31,114,864	16,307,468	47,422,332	
	計	5,980	14,399	154,831.1	122,838,236	105,078,418	235,123,951	122,092,131	357,216,082	
	東部(R元)						3,339	80,331	83,670	
	中部(R元)						4,226		4,226	
計						7,565	80,331	87,896		
合計		5,980	14,399	154,831.1	122,838,236	105,078,418	235,131,516	122,172,462	357,303,978	

引受の状況

令和2年度は、実農家戸数4,609戸(対前年比99.6%)、棟数14,399棟(同121.9%)、面積154,831a(同124.1%)、共済金額1,050億7,842万円(同147.3%)となった。

撤去費用の加入は、棟数13,391棟(同122.0%)、面積145,803a(同123.8%)、共済金額104億516万円(同132.7%)となった。

復旧費用の加入は、棟数7,982棟(同141.0%)、面積89,777a(同144.0%)、共済金額199億4,082万円(同235.2%)となった。

棟数、面積及び共済金額は、令和2年9月制度改正により切り替えを行った棟が重複し、前年より増加した。この制度改正により付保割合追加特約・復旧費用の補償が拡充されたため共済金額が大幅に増加した。

(被害)

施設区分	項目	支所名	被害			損害の額	支 払 共 済 金							共済金			
			組合員数	棟数	附帯施設数		特園	定設	附帯施設	施設	内撤	去	特定園芸施設復旧費用	附帯施設復旧費用	合 計	共済金額	%
			人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	%
10 ガラス木造	東部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	中部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	西部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
20 ガラス鉄骨	東部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	中部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	西部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
30 木 造	東部		10	14	2	2,235,057	936,079	151,360	512,627	0	0	75,664	1,675,730	0.26			
	中部		26	32	0	6,138,433	2,689,281	0	2,039,138	0	155,710	0	4,884,129	0.16			
	西部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00			
	計		36	46	2	8,373,490	3,625,360	151,360	2,551,765	0	155,710	75,664	6,559,859	0.18			
40 パ イ プ	東部		15	22	0	2,872,186	2,143,990	0	101,688	0	0	0	2,245,678	0.88			
	中部		6	7	0	388,288	246,378	0	78,159	0	0	0	324,537	0.88			
	西部		3	3	0	654,452	522,219	0	0	0	0	0	522,219	1.28			
	計		24	32	0	3,914,926	2,912,587	0	179,847	0	0	0	3,092,434	0.93			
50 A P	東部		222	310	81	64,399,431	18,706,837	8,452,061	20,193,509	0	184,249	3,523,028	51,059,684	0.15			
	東部(R元)					9,200,847	0	272,000	0	0	720,348	691,196	1,683,544	0.01			
	中部		97	130	13	23,838,239	6,259,286	1,603,043	10,970,732	0	0	599,436	19,432,497	0.11			
	西部		75	100	8	17,885,572	6,438,715	427,985	7,172,833	0	147,508	2,444	14,189,485	0.19			
	西部(R元)					610,526	0	0	0	0	10,729	120,000	130,729	0.00			
計		394	540	102	115,934,615	31,404,838	10,755,089	38,337,074	0	1,062,834	4,936,104	86,495,939	0.10				
61 鉄骨(軟質)	東部		69	97	43	16,983,989	2,732,551	4,326,414	4,804,358	0	0	1,161,999	13,025,322	0.08			
	東部(R元)					4,136,511	22,214	0	0	0	140,825	515,801	678,840	0.01			
	中部		14	19	6	1,650,884	584,215	422,987	314,070	0	0	40,000	1,361,272	0.02			
	西部		21	29	9	5,580,298	793,488	1,337,349	2,305,403	0	0	27,500	4,463,740	0.13			
計		104	145	58	28,351,682	4,132,468	6,086,750	7,423,831	0	140,825	1,745,300	19,529,174	0.05				
62 鉄骨(硬質)	東部		11	17	6	3,038,496	9,952	485,201	1,810,359	0	0	89,373	2,394,885	0.06			
	東部(R元)					2,963,940	834,105	0	1,537,046	0	0	0	2,371,151	0.09			
	中部		6	7	2	1,923,766	79,333	481,556	993,466	0	0	0	1,554,355	0.02			
	西部		4	4	2	503,481	259,291	125,363	0	0	0	18,130	402,784	0.08			
西部(R元)					126,744	0	0	0	0	22,496	0	22,496	0.01				
計		21	28	10	8,556,427	1,182,681	1,092,120	4,340,871	0	22,496	107,503	6,745,671	0.05				
70 鉄骨MMA	東部		3	3	3	852,499	0	657,562	0	0	0	69,976	727,538	0.05			
	中部		3	3	1	833,882	0	125,400	566,785	0	0	0	692,185	0.12			
	西部		4	4	2	613,331	32,767	68,761	368,994	0	0	33,570	504,092	0.05			
	計		10	10	6	2,299,712	32,767	851,723	935,779	0	0	103,546	1,923,815	0.06			
80 雨 よ け	東部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00			
	中部		2	5	0	618,381	491,651	0	0	0	0	0	491,651	5.79			
	西部		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00			
	計		2	5	0	618,381	491,651	0	0	0	0	0	491,651	1.21			
合 計	東部		330	463	135	90,381,658	24,529,409	14,072,598	27,422,541	0	184,249	4,920,040	71,128,837	0.12			
	東部(R元)		0	0	0	16,301,298	856,319	272,000	1,537,046	0	861,173	1,206,997	4,733,535	0.01			
	中部		154	203	22	35,391,873	10,350,144	2,632,986	14,962,350	0	155,710	639,436	28,740,626	0.08			
	西部		107	140	21	25,237,134	8,046,480	1,959,458	9,847,230	0	147,508	81,644	20,082,320	0.16			
	西部(R元)		0	0	0	737,270	0	0	0	0	33,225	120,000	153,225	0.00			
計		591	806	178	168,049,233	43,782,352	18,937,042	53,769,167	0	1,381,865	6,968,117	124,838,543	0.12				

被害の状況

令和2年度の被害状況は、4月の突風、9月の台風、による本体・被覆材への被害、落雷による附帯施設への被害、ナス、キュウリ、メロン等の施設内農作物への病害などで、実被害戸数591戸（対前年対比68.9%）、被害棟数806棟（同56.7%）、支払共済金1億1,995万円（同54.6%）となった。

また復旧費用共済金については、87棟（内附帯復旧84棟）、613万円（同319万円）の支払いとなった。

(支払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
	保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
124,838,543	1,246,247	118,626,088	0	0	4,966,208	100

(6) 任意共済関係

1. 建物共済

(引受関係)

項目 区分	支所名	加入棟数	共済金額	共済掛金		1棟当たり平均共済金額	任意保険料	保険手数料
				純共済掛金	賦課金			
		棟	円	円	円	円	円	円
火災	東 部	11,615	96,218,760,000	45,126,378	36,827,952	8,284,009		
	中 部	9,745	76,000,630,000	40,606,790	33,135,771	7,798,936		
	西 部	12,830	100,644,480,000	49,604,621	40,453,761	7,844,465		
	計	34,190	272,863,870,000	135,337,789	110,417,484	7,980,809	73,726,586	29,800,799
総合	東 部	4,300	24,622,630,000	59,595,939	13,160,816	5,726,193		
	中 部	1,700	12,806,690,000	31,860,234	7,141,187	7,533,347		
	西 部	2,065	15,733,890,000	37,809,479	8,336,803	7,619,317		
	計	8,065	53,163,210,000	129,265,652	28,638,806	6,591,843	65,516,148	7,973,656
再保険料（独自再保険未経過分）							5,591,679	
合計	東 部	15,915	120,841,390,000	104,722,317	49,988,768	7,592,924		
	中 部	11,445	88,807,320,000	72,467,024	40,276,958	7,759,486		
	西 部	14,895	116,378,370,000	87,414,100	48,790,564	7,813,251		
	計	42,255	326,027,080,000	264,603,441	139,056,290	7,715,704	144,834,413	37,774,455

総共済掛金額 403,659,731 円、保険割合 地震 50%・地震以外 30%
 保険手数料割合 27.13% (平均)

引受の状況

火災共済では、農家の高齢化、離農、他保険への加入等の理由により棟数は 34,190 棟（対前年 1,270 棟減少、96.4%）、共済金額は、2,729 億円（同 105 億円減少、96.3%）となった。

総合共済では、火災共済と同じ原因で解約はあるものの、近年の異常気象、または南海トラフ地震による災害に関心が高まっていることにより 8,065 棟（対前年 44 棟減少、99.5%）と僅かに減少したが、共済金額は、532 億円（同 5.5 億円増、101.1%）となった。

(事故関係)

支所名	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)		任意保険金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
			火災	風水害等			
	棟	円	円	円	円	%	
東 部	80	641,080,000	28,368,064	2,540,711	9,272,603	4.8	
中 部	35	295,090,000	16,277,398	3,848,997	6,037,906	6.8	
西 部	46	608,190,000	73,175,753	2,133,047	22,592,627	12.4	
計	161	1,544,360,000	117,821,215	8,522,755	37,903,136	8.2	

(原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	再共済金及び 任意保険金	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
火 災	棟 23	円 198,120,000	円 110,300,071	円 33,090,017	% 55.7	
風 水 害	44	481,510,000	6,292,964	1,887,869	1.3	
落 雷	61	524,000,000	4,792,670	1,437,779	0.9	
水 道 管 凍 結	15	160,070,000	249,539	74,859	0.2	
そ の 他	18	180,660,000	4,708,726	1,412,612	2.6	
計	161	1,544,360,000	126,343,970	37,903,136	8.2	

被害の状況

本年度は、棟数 161 棟、支払共済金 1 億 2,634 万円となり、近年多く発生している自然災害も少なく支払共済金では火災による支払共済金が 1 億 1,030 万円と全体の 87.3%を占めた。

原因別では、台風 10 号 (9 月 7 日接近)、または局地的な豪雨、突風の風水害が 44 棟、629 万円の支払いとなった。事故件数では落雷が原因の件数が最も多く、61 棟、479 万円となった。また 2 年度より支払対象となった水道管凍結による損害が 15 棟、25 万円の支払いとなった。

2. 農機具共済

(引受関係)

項目 区分	支所名	加入台数	共済金額	共済掛金		1台当たり 平均共済金額
				純共済掛金	賦課金	
		台	円	円	円	円
火災	東 部	372	385,370,000	269,625	157,335	1,035,941
	中 部	211	194,200,000	137,838	80,752	920,379
	西 部	773	633,970,000	421,317	270,188	820,142
	計	1,356	1,213,540,000	828,780	508,275	894,941
総合	東 部	1,463	2,734,580,000	10,467,428	2,100,832	1,869,159
	中 部	858	1,656,520,000	6,495,558	1,296,154	1,930,676
	西 部	1,451	2,842,750,000	10,535,568	2,247,883	1,959,166
	計	3,772	7,233,850,000	27,498,554	5,644,869	1,917,776
合計	東 部	1,835	3,119,950,000	10,737,053	2,258,167	1,700,245
	中 部	1,069	1,850,720,000	6,633,396	1,376,906	1,731,263
	西 部	2,224	3,476,720,000	10,956,885	2,518,071	1,563,273
	計	5,128	8,447,390,000	28,327,334	6,153,144	1,647,307

引受の状況

本年度は火災共済、総合共済ともに引受実績が増加した。要因として地震等担保特約の新設が新規契約に繋がったと思われる。また地震等担保特約は444台の契約となった。

火災共済の引受台数は、1,356台（対前年58台増、104.5%）で、共済金額では、12億1,400万（同5,894万円増、105.1%）となった。

総合共済では、昨年度に続き増加傾向が続いており、本年度も引受台数3,772台（対前年269台増加、107.7%）、共済金額72億3,400万円（同7億4,500万円増加、111.5%）となった。

(事故関係)

支所名	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備考
	台	円	円	%	
東 部	25	90,380,000	2,404,859	2.7	
中 部	18	68,750,000	2,080,105	3.0	
西 部	21	70,350,000	2,030,622	2.9	
計	64	229,480,000	6,515,586	2.8	

(原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ) 円	支払共済金 (ロ) 円	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$ %	備考
衝突・接触	45	179,180,000	4,294,731	2.4	
異物の巻き込み	9	17,200,000	814,245	4.7	
墜落・転落	1	3,200,000	250,247	7.8	
落雷	3	2,300,000	760,815	33.1	
獣害	5	19,800,000	282,094	1.4	
その他	1	7,800,000	113,454	1.5	
計	64	229,480,000	6,515,586	2.8	

被害の状況

本年度の事故台数は、64台（対前年41台減、61.0%）と減少し、支払共済金は652万円（対前年1,509万円減、30.2%）減少となり過去5年で最も少ない支払いとなった。

原因別では、衝突・接触での支払いが最も多く、支払共済金は429万円（45台）、次いで異物の巻き込みが81万円（9台）の支払いとなった。また、3件の落雷事故の発生があり76万円の支払いとなった。